

平成19年度障害者自立支援調査研究プロジェクト 事業実施報告概要

事業名	「発達障害者支援制度利用」ガイドブック作成事業
事業目的	<p>発達障害に対する社会的な関心が高まりを受け、本人や家族に発達障害があることに気付いたり、診断を受たりする事例が急速に増えている。</p> <p>一方、発達障害児者や家族が必要とする支援は、乳幼児期から成人期に至るまで多岐・多様かつ複雑であり、発達障害児者や家族にとって、どのような支援があり、どうしたら利用できるかが分かりづらい状況になっている。</p> <p>そこで、現在利用できる発達障害者に対する各種の支援制度等を、当事者の視点で分かりやすく、体系的に解説したガイドブックを作成し配布することにより、発達障害児者や家族や関係者に対して、各種支援制度について広く情報を提供することを目的として事業を行った。</p>
事業概要	<p>発達障害に対する各種の支援制度について、早期発見・早期支援、保育、教育、就労、生活支援、権利擁護、家族への支援等の項目別に、発達障害児者のライフステージに合わせて体系的に整理し、分かりやすく解説したガイドブック(小冊子)を発行し、全国の保健所、発達障害者支援センター等の機関、関係団体等経由で配布した。</p> <p>JDDネット加盟団体の保護者を中心に利用者の視点から執筆し、医学・教育・心理・労働等の各方面の専門家に監修をお願いし、信頼性の高い情報を発達障害に関する知識がない保護者、保健士、保育士等に分かりやすいように平易な文言で、イラスト、図表等を織り込み、基礎知識がなくても読みやすく理解しやすいものとした。</p>
事業実施結果及び効果	<p>発達障害のある人が利用できる各種の支援制度についてまとめた資料が従来なかったこともあり、手軽で分かりやすいと評価をいただいている。</p> <p>発達障害のある人・家族や関係者に広く利用いただくとともに、この冊子が発達障害に対する支援制度の拡充や、発達障害に対する理解啓発につながっていくことが期待できる。</p> <p>本事業における実績等を活用し、平成20年度以降、改刷版の作成・配布を行う等により、継続的に事業を実施予定。</p>
事業主体	日本発達障害ネットワーク